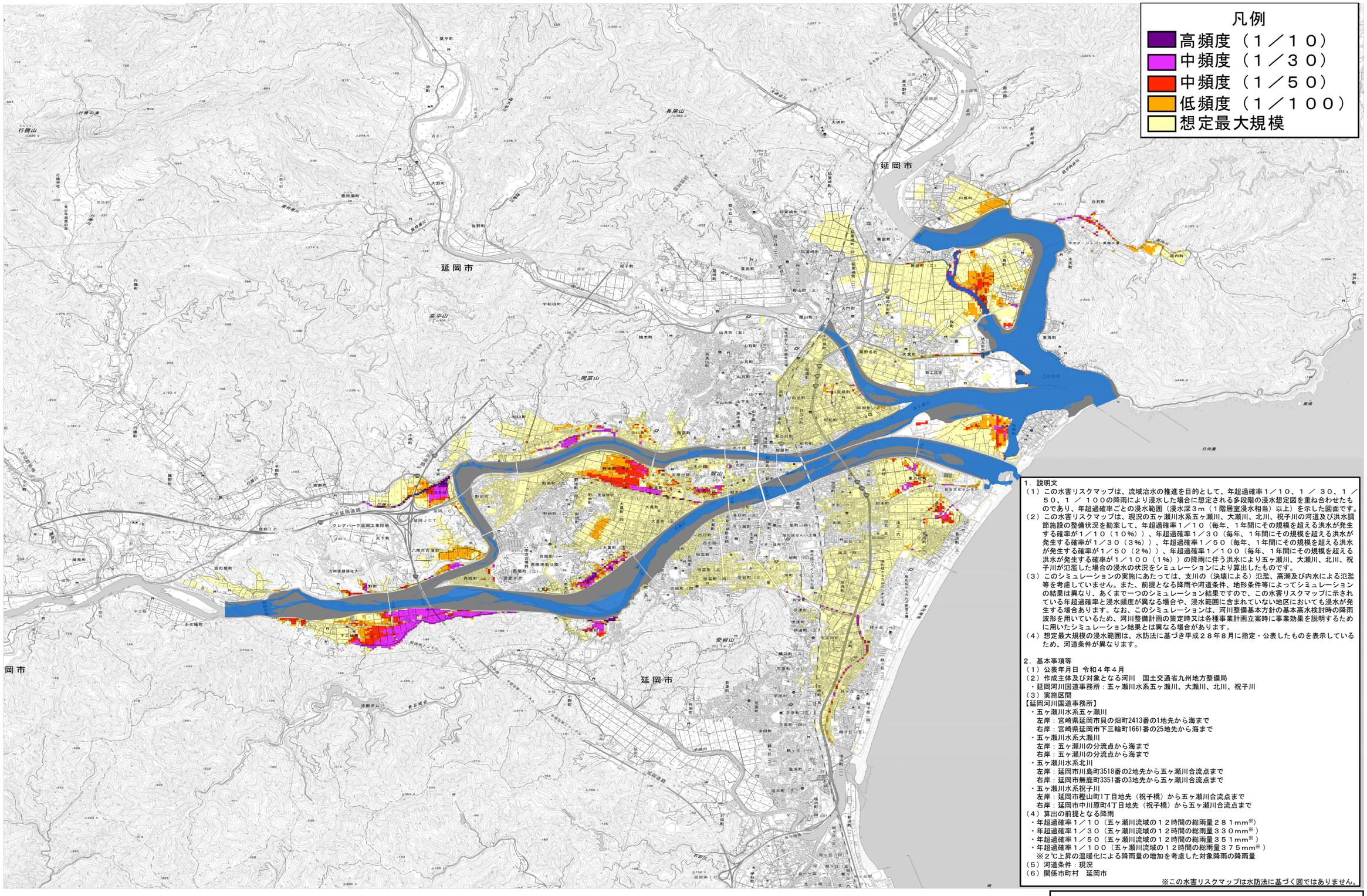
五ヶ瀬川水系　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】

浸水深３ｍ（１階居室浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深３ｍ（１階居室浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川、大瀬川、北川、祝子川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３％））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１％））の降雨に伴う洪水により五ヶ瀬川、大瀬川、北川、祝子川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年８月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日 令和４年４月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省九州地方整備局
・延岡河川国道事務所：五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川、大瀬川、北川、祝子川

（３）実施区間

【延岡河川国道事務所】

・五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川
　左岸：宮崎県延岡市貝の畑町2413番の1地先から海まで
　右岸：宮崎県延岡市下三輪町1661番の25地先から海まで
・五ヶ瀬川水系大瀬川
　左岸：五ヶ瀬川の分流点から海まで
　右岸：五ヶ瀬川の分流点から海まで
・五ヶ瀬川水系北川
　左岸：延岡市川島町3518番の2地先から五ヶ瀬川合流点まで
　右岸：延岡市無鹿町3351番の3地先から五ヶ瀬川合流点まで
・五ヶ瀬川水系祝子川
　左岸：延岡市樫山町1丁目地先（祝子橋）から五ヶ瀬川合流点まで
　右岸：延岡市中川原町4丁目地先（祝子橋）から五ヶ瀬川合流点まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（五ヶ瀬川流域の１２時間の総雨量２８１mm※）
・年超過確率１／３０（五ヶ瀬川流域の１２時間の総雨量３３０mm※）
・年超過確率１／５０（五ヶ瀬川流域の１２時間の総雨量３５１mm※）
・年超過確率１／１００（五ヶ瀬川流域の１２時間の総雨量３７５mm※）
　※２℃上昇の温暖化による降雨量の増加を考慮した対象降雨の降雨量

（５）河道条件：現況

（６）関係市町村　延岡市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 3